

学術英語学会2025年度年次研究大会

The 11th Annual Conference of Japan Society of English for Research –Hybrid Conference–

<2025年9月13日（土曜日）／Saturday 13th of September, 2025>

年次大会プログラム

時間（予定）	発表者（敬称略） 題目	司会進行（敬称略）
9：00	開場、受付開始	本部事務局
9：50から 10：00	開会の辞、大会運営の諸注意	本部事務局 大会実行委員会
10：00から 10：35 第一発表	発表者：Shuyi Li (The University of Tokyo) タイトル：Investigating Writer-Centered Strategies for Enhancing EAP Writing through Large Language Model Prompting. (英語による発表)	司会：榊原知樹（東京医療保健大学）
10：40から 11：15 第二発表	発表者：Emi Iwasaki (Prefectural University of Hiroshima) タイトル：Beyond Rote-Based Learning: Understanding Sociolinguistic Notions through Concept-Based Learning for ESP - A Case Study of Different Perspectives Between Doctors and Nurses. (英語による発表)	司会：松田紀子（近畿大学）
11：20から 12：50	Sophia University's Special Session 発表者：Chantal Hemmi (TWCU), Jason McEvoy (Sophia University), and Neale Cunningham (TWCU) タイトル：Innovations in CLIL Contexts (英語による発表)	司会：森本真理（甲南女子大学）
12：50から 13：50	お昼休憩＋会員活動報告	
13：50から 14：15 第三発表	発表者：上條 武（立命館大学） タイトル：博士課程L2学生の質的研究論文作成における文献引用と Academic Voiceの構築 (日本語による発表)	司会：西山幹枝（東京医療保健大学）
14：20から 14：55 第四発表	発表者：Ian Hurrell（東洋大学） タイトル：Practical Solutions to Build Fluency and Confidence for Academic Presenting in English (英語による発表)	司会：加藤 穰（滋賀医科大学）
15：15から 16：25	基調講演/Keynote Speech 発表者：佐藤洋一（東洋大学・Cardiff University, UK） タイトル：『グローバルな学術活動のために求められる言語インフラ構築の提案（仮）』（仮題）	司会：清田寛人（J-SER事務局長／放送大学）
16：30から 17：50	パネルディスカッション タイトル：『大学研究機関における学術英語言語インフラ整備の実情と課題：医療、看護分野の事例を中心に』 パネリスト：加藤穰（滋賀医科大学）、西山幹枝（東京医療保健大学）、榊原知樹（東京医療保健大学）、佐藤洋一（東洋大学・Cardiff University, UK）	司会：柳瀬陽介（京都大学国際高等教育院）
17：50	閉会の辞	Jason McEvoy 本部事務局
18：00	懇親会 (参加費：¥4000円予定 ご参加の方は当日にお支払いください)	

* 参加費 正会員3,000円／学生会員 2,000円

* 会場：東洋大学白山キャンパス・ハイブリッド開催